

# 平成 27 年度 算数科教育にかかわる現状と課題

部長 速水 紳

## 1 算数科教育の動向

### (1) 研究主題から見て

#### ① 子どもに付けたい力という視点から

率直に「学力向上」を目指しているのが、上越、加茂、佐渡の3市。「思考力・表現力の育成」を目指しているのが、柏崎刈羽、糸魚川、長岡三島の3郡市。村上、阿賀野はそこに判断力も加えている。東蒲原は表現力の育成。思考力・表現力の育成に力点を置くのが9郡市と多い。十日町中魚、南魚沼、燕西蒲の3郡市は、活用力の育成・向上を図っている。小千谷、五泉は「分かる・できる」体験に焦点を当てている。主体的に学ぶ意欲の育成には、魚沼、南魚沼、新発田北蒲の3郡市。新潟市は、自分の考えを発展させ、算数を愉しむ子を目指している。

#### ② 研究の対象という視点から

子どもに力を付けるために「授業づくり」「授業改善」「授業の工夫」などと授業づくりを主題としているのが、13郡市と、全体の3分の2に近い。「算数的・数学的活動」の工夫あるいは在り方と、より絞っているのが柏崎刈羽、長岡三島である。算数的活動には燕西蒲も焦点を当てている。授業力・指導力といった教師の力量向上を追求しているのは、南魚沼、胎内である。小千谷、新潟は、目指したい子ども像を研究主題としている。

### (2) 活動内容から見て

活動回数は、1回～8回（市教委事業との共催等も含む）。年に2、3回の郡市が多い。

#### ① 授業公開（研究）・協議会の実施

21郡市のうち、17郡市で授業研究を1回以上行っている。活動の中心は、実践的な授業研究とその後の協議会となっている。協議会のあり方も、KJ法（加茂）、ファシリテーション（阿賀野）、ワールドカフェ（三条）など、充実のための様々な工夫が行われた。

#### ② 講演会の実施

13の郡市で主題に沿った講演会を行っているが、4郡市で示範授業や模擬授業の形をとった。講師も、管理職や指導主事だけでなく大学准教授や中学校教諭（妙高）、附属小主幹教諭（魚沼）等も見られた。上越や新発田北蒲では、改訂された教科書の使い方研修を行った。

#### ③ 小中の連携

妙高、加茂、十日町中魚、見附、胎内の5郡市では、小中合同で研究活動を行っている。小中連携した研究活動が進められている郡市も多くなっている。柏崎刈羽では、小中高で一緒に研修機会もある。糸魚川では中学校教員にも授業を公開した。

## 2 算数科教育の課題

学力向上の引き合いに出される教科で最も多いのが算数科である。子どもに付けたい力は何か、どのような授業によってその力がつくか、その力を付けるためにどのような研修を進めて教師の指導力を高めるか、各郡市で真剣な取組が行われた。この取組は、教師の意図的計画的な日常の実践で効果を高めることが望める。授業研究後の協議会のあり方、模擬授業による講演会など、時代や会員のニーズに応じた工夫も行われている。これらの継続的・計画的な実践により、より確かな学力の定着につなげていきたい。